

キラリ★プロの目

私はこうして
電気事故を防いだ!



金属ボックスの底がなくなっている!? 腐食の発見で設備の破損を未然に防止!

点検対象	海水浴場トイレ	点検地区	広尾郡広尾町
キラリポイント	定期調査の際、柱に設置している屋外金属ボックスを開いて確認したところ、金属ボックスの底面が腐食でなくなっており、引込開閉器の端子部も腐食が進み、赤錆や青錆が見受けられました。		

■事故概要と防止対策

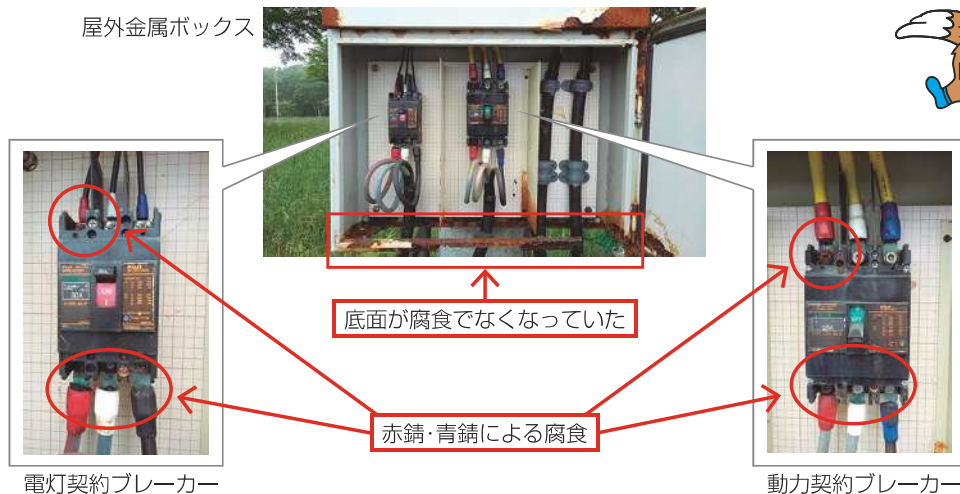
電灯*1契約ブレーカーの赤相および白相端子部分は赤錆による腐食がひどく、振動等で赤相が断線すると一部不点となる可能性や、白相が断線した場合は欠相状態となり、異常電圧によって電気設備が破損してしまう可能性が考えられました。

また、廃止中の動力*2契約ブレーカーも赤相端子部分が腐食しており、断線した場合、そのまま気付かず使用したときに単相運転となってモーター等の破損につながる恐れがあります。

改修が必要と判断し、当日中に設備を管理している担当者の方に立ち会っていただき、状況を説明して早期の改修をお願いしました。

※1 電灯・・・蛍光灯や白熱灯などの照明器具。

※2 動力・・・電灯および小型機器(テレビ、洗濯機など)以外の業務用冷蔵庫やエレベーターなどの電気機器。



■技術者からのワンポイントアドバイス

定期調査では、設備状況を目視や異音等で確認して、異常があった場合には、お客さまに現地立会いの上確認していただき、調査内容の説明と改修をお願いするよう心がけています。



帯広支部 調査課
浜松 芳博